

免 KEYTRUDA+PEM併用療法

アリムタ 500mg/m² day1
 キイトルーダ 200mg/body day1

適応： 非小細胞肺癌(非扁平上皮)

審査日： 2019年 10月 22日

催吐リスク：

LEC

承認日： 2019年 10月 22日

血管外漏出リスク：

炎症性

1サイクル期間： **21日間**

Rp	時間	薬剤	投与方法	投与時間	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7	day8	~	day14
①	プライミング用	生理食塩水50ml	点滴静注		●									
②	10:00~10:30	生理食塩水100ml+デキサート6.6mg	点滴静注	30分	●									
③	10:30~11:00	生理食塩水100ml+キイトルーダ	点滴静注	30分	●									
④	11:00~11:05	生理食塩水50ml	点滴静注	5分	●									
⑤	11:05~11:15	生理食塩水100ml+アリムタ	点滴静注	10分	●									
⑥	フラッシュ用	生理食塩水50ml	点滴静注		●									
⑦	9:00	デカドロン錠4mg 1錠	内服			(●)	(●)	(●)						

プレメディケーション	葉酸：本剤初回投与の7日以上前から葉酸としてパンビタン末を1日1回1g連日経口投与する。なお、本剤の投与を中止又は終了する場合には、本剤最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。 ビタミンB12：本剤初回投与の少なくとも7日前に、シアノコバラミン注1000 μ gを筋肉内投与する。その後、本剤投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与する。
ポストメディケーション	発赤疹出現患者に対し投与翌日から経口にてデキサメタゾン4mgを3日間追加する。
投与・調整時に注意する点	キイトルーダ投与時はインラインフィルターを用いること

【根拠となる論文】

Gandhi L. et al. Pembrolizumab plus Chemotherapy in Metastatic Non-Small-Cell Lung Cancer. N Engl J Med. 2018 May 31;378(22):2078-2092.